

「遊ぼう」

この絵の風景は昨年7月12日昼前、気温は32℃ほどの日射しの強い日の一コマです。場所は目黒区駒場の黒区立駒場公園です。

公園には、国の重要文化財指定を2013年に受けた旧加賀藩当主の流れをくむ前田伯爵邸（昭和の初期に本郷からこの地に移動）の洋館と和館があります。旧邸宅を含む敷地約1万坪の庭園は駒場野を形成していたマツ・ケヤキ・イチヨウ・シラカシの大大木で取り巻かれ、木々は真夏の格好の日陰を提供しています。

公園では暑さにも負けず元気に遊ぶ子供たちの声。降り注ぐ太陽の光は大きな木々の梢や葉っぱを輝かせ、足元の子供たちを包み込んでいます。

絵を描くにあたって一番気を遣ったことは、木々の葉っぱの輝きであり、差し込む光を壊さないようにすることでした。水彩画で輝きを強く表現する手段は紙に色を乗せないことと教えられていましたから、葉っぱは点描にしています。もちろんこれ以外の方法はあるでしょうが、小生の現在の技ではこの方法が一番近道だったのです。

子供達を描いていると、彼らの会話が分かってくるような気持ちになります。見て頂いて声が届くようであれば嬉しいです。

菊岡 保人



Size : 530×455mm (F 10)

